

ノンフロンダストブロワーの種類

商品化されているノンフロンダストブロワー製品は、1) ジメチルエーテル（DME）・二酸化炭素（CO₂）混合ガス使用のエアゾール缶タイプ、2) 二酸化炭素（CO₂）使用の高圧ボンベタイプの二つに大別されます。これまでは、ノンフロン化しようとする、引火対策、高圧対策、破裂対策などの対策をとる必要があり、実用化が困難でしたが、最近ではこれらの点も改善され、グリーン購入法などにより、ノンフロンダストブロワー製品が積極的に使用されるようになっていきます。

ノンフロンダストブロワー製品の特徴は以下の通りです。

1) DME・CO₂ 混合ガス使用タイプ

- オゾン層破壊係数0、地球温暖化係数1未満
- 従来品と同程度の価格
- 引火防止対策として、缶内に特殊吸収体を使用し、CO₂と混合噴射することによって液化ガスの噴射を防ぎ、引火事故を防止する工夫がされている

2) CO₂ 使用タイプ（高圧ボンベタイプ）

- オゾン層破壊係数0、地球温暖化係数1
- 不燃性のため、引火の危険性が無い
- 高圧のため、温度上昇時の自然漏洩装置が搭載され、高圧ポンプを使用
- 高圧ガス保安法の適用外とするため、内容量は100ml未満
- ボンベの交換やリユースが可能

使用ガス	DME・CO ₂ 混合ガス	CO ₂	
容器の形態	エアゾール2ピース缶	高圧ボンベ	
		カートリッジ式： 取替えボンベ付	使用済容器の 回収・再利用
内容量	350ml	100ml未満 (高圧ガス保安法適用除外品)	
缶重量 (ガスを除く)	200～250g	400～450g	250～300g
引火対策	液化ガスの噴射を防ぎ、 引火事故を防止	不燃性のため引火の危険なし	
破裂対策・ 高圧対策	フロン使用製品と 同程度の圧力であり、 特別な対策は不要	高圧であり、高温時にバルブ・ボンベから ガスが自然漏洩する構造になっているほか、 缶が肉厚になっている	
販売価格	フロン使用製品と同程度の価格	フロン使用製品の2～3倍	

※ノンフロンダストブロワー製品は、可燃性のガスが使われていたり、高圧のため、製品の注意書きをよく読み、正しい使い方をすることが重要です。